

とまこまい 市議会だより

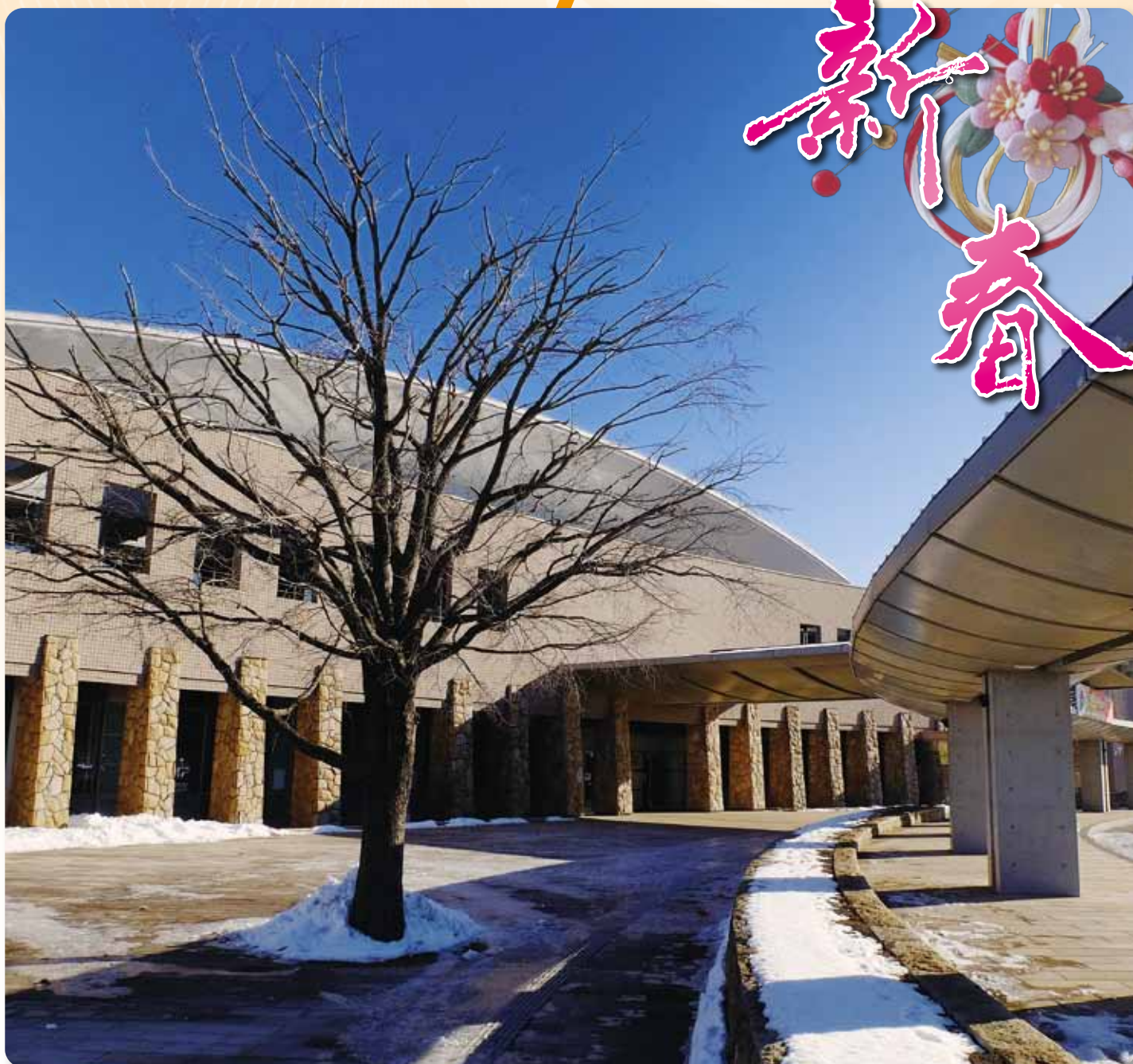
TOMAKOMAI CITY COUNCIL NEWS

■ 編集・発行・お問合せ先
苫小牧市議会 とまこまい市議会だより編集委員会
〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号
TEL 0144-32-6785 FAX 0144-33-1839
URL <http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gikai/>

第 17 号 平成29年1月31日発行



第8回定例会を開催いたしました。
(平成28年12月1日(木)～12月9日(金))



白鳥王子アイスアリーナ 「スポーツ都市宣言」30周年となる1996年(平成8年)に
国際大会にも対応できる施設として開設されたアイススケート場

写真提供/撮影者: はやし ひろし

検索は

苫小牧市議会

検索

円などが原案どおりに可決されました。

苦小牧市特別職及び一般職の給与に関する条例などが一部改正

苦小牧市の特別職の職員の給与の一部改正する条例では、国家公務員に準じて特別職の職員に支給する期末手当の支給割合を引き上げるための改正。また、一般職の職員の給与に関する条例の一部改正では国家公務員の給与改定に鑑み、一般職の職員の給与月額改定及び期末・勤勉手当、扶養手当などについて、支給割合を引き上げるなどのために規定を整備します。

LPガス採用に関する陳情

「ウトナイ地区新設中学校を初めとする今後新築・改築する公共施設の一般用途熱源としてのLPガス採用に関する陳情」は、審査の結果、趣旨採択されました。

選挙管理委員及び補充員の選挙結果

委員及び補充員の任期満了に伴い、後任者の選挙が行われました。委員には、三浦希嘉氏、小松靖孝氏、大森美智子氏、椎名貴誇氏。

補充員には、大坪弘之氏、岡聖子氏、志方晴樹氏、工藤あり子氏がそれぞれ議長の名指推選で当選しました。

国や道の関係機関に意見書を提出

「J-R北海道の日高線、室蘭線の存続を求める要望意見書」「地方議会議員の厚生年金への加入を求める要望意見書」「後期高齢者医療制度の保険料軽減特例措置の継続等を求める要望意見書」「次期介護保険制度改革における福祉用具及び住宅改修の見直しを求める要望意見書」が原案どおり可決されました。

人権擁護委員候補者の推薦について

委員の任期満了に伴い、後任者を推薦し、議会審査の結果、次のように決まりました。

委員には、松谷 淑氏、大森美智子氏、高橋裕美氏、大村千佳氏と決定しました。

※陳情 国や地方の公的機関、または政治家などに、実情を訴えて、善処してくれるよう要請すること。



SMILE JAPAN

この戦いは、ゆずれない。

第23回 オリンピック冬季競技大会
女子アイスホッケー最終予選

みんなで応援しよう！
女子アイスホッケー オリンピック最終予選 2月9(木)～12(日)


**8回 22億2,208万
7千円の補正予算が
第1回 可決されました！**

今定例会は、12月1日(木)から12月9日(金)まで開かれました。議案24件、報告4件、要望意見書4件、選挙1件、決議2件、陳情1件などの審議が行われました。

平成28年度補正予算、苦小牧市特別職及び一般職の給与に関する条例の一部改正などの市長提出案件ほか、議員が発議した、意見書の審議を行いました。

一般質問では、17名の議員が登場し、新年度予算編成やJ-R北海道の路線維持などについて質疑が行われました。

また、12月5日には、在日米軍再編に係る訓練移転について、訓練機の



北海道防衛局の説明会

飛来や千歳基地内での説明会が開催されたため、議会を休会し参加しました。


なお、一般質問の質疑内容は各会派記事を、各委員会、特別委員会の質疑につきましては、4、5ページをご参照願います。

**市営住宅明け渡しの
訴えについて報告**

市営住宅の滞納家賃の支払い及び賃貸契約解除に伴う住宅の明け渡し訴訟について専決処分報告がされました。


**とまチョップポイント
応援キャンペーンなどを審議**

一般会計では、苦小牧市の緊急雇用対策として、「道路清掃・雪水除去業務、公園広葉樹剪定・伐採業務」などに5,000万円、とまチョップポイント事業と連携し、地域商店街での消費拡大を促進するとともに、地元商店街を



とまチョップポイント応援キャンペーン

性化させることを目的とした事業補助として、「地域ポイント活用事業費」に800万円、介護従事者の負担軽減と職場環境の整備による介護従事者確保のため、介護ロボットを導入する事業者へ補助する「介護ロボット導入促進事業」に278万1千円、国の補正による「北光小学校校舎改築事業費」に9億7,768万1千円、「啓北中学校校舎・屋内体育館改築事業費」に5億7,536万6千円、また、「8月の台風災害に係る河川復旧事業費」に3,500万円、「(仮称)医療介護連携センターの開設準備室の設置費」に612万円、水道会計では、量水器(水道メーター)購入の債務負担行為補正として1億8,104万3千円、下水道会計では、「汚泥脱水用凝集剤購入費」に2,773万5千



負担軽減が期待される介護ロボットの一例

新春のごあいさつ

苦小牧市議会議長 池田 謙次

昨年は、議員の不幸事など信頼を失墜させ市民の皆さまには、大変なご迷惑をおかけし心からお詫び申し上げます。

議員一人一人が「市民の模範たる」との原点に立ち返り、襟を正し議会一丸となって信頼回復に努めてまいります。

現在進めております議会改革については、一問一答の本格実施や

議会改革検討会

**一問一答方式及び
議会基本条例について議論**

平成28年12月9日に行われた議会改革検討会では、初めに一問一答方式の検証結果について話し合われました。全体としては、「質問者と市側の議論が分かり易くなった」という評価になりました。しかし、一括方式も残しておく必要があるとの意見もあり、選択制とすることに決めました。

また、委員会の質問時間の制限は、現在のままとし、特別委員会40分、決算委員会は60分、予算委員会は70分、常任委員会は設けないものとする事に決めました。次に、予算・決算委員会の日程及び予算編成の事前協議については、市側から難しいとの回答がありました。引き続き早めの予算提示を求めていくこととし、検討項目から外すことで決定しました。

議会基本条例については、すでに、制定している市の先進的な議会基本条例を参考に、各会派で協議を行ない、苦小牧市での実現のため努力することを確認しました。

常任委員会

CAP3素案について議論

総務委員会

小山 征三 委員長

所管事項の「出資法人等に関する定期調査の結果について」及び「(仮称)CAPプログラムパート3素案について」の2項目について報告、説明がありました。

このうち、「(仮称)CAP(キヤップ)プログラムパート3素案について」では、新たに、子供、若者、子育て世代などの多様な主体を巻き込んだ日常的なにぎわいづくりの取組を展開していくこと、既存の拠点施設や商店街との連携、ネットワークなどにより人の流れづくりに取り組むこと、平成29年3月末を目標に策定作業を進めることなどが示されました。



街の活性化が期待されるキャップ

「鳥インフルエンザ」の発生について「質疑が集中

厚生委員会

神山 哲太郎 委員長

所管事項の「国民健康保険法に基づく国保事業費納付金の仮算定結果について」「鳥インフルエンザの発生について」の2件について審議しました。鳥インフルエンザの発生については、初めに、担当部局から経過と詳しい内容の説明がありました。各委員から人体に与える影響、ペットや家畜に感染する可能性、予防や対応についてなどが質疑されました。今回、市としては、初めて発生した高病原性鳥インフルエンザということで市民周知、監視の強化、注意看板の設置、道の駅出入り口に消毒マットや看板の設置などで対応したとの回答がありました。また、野鳥の死骸などを発見した場合は速やかに市へ連絡してほしいとされています。



警戒態勢が続いたウトナイ湖畔

給食への異物混入問題などを議論

文教経済委員会

矢嶋 翼 委員長

所管事項の「学校給食献立の一部中止について」魚バークにプラスチック片、豚肉に金属が混入し使用を中止しました。今後、安全な品質管理の徹底を図ると説明があり、質疑で原因究明と再発防止を指摘しました。次に「公務補・事務補の基本的配置方針について」公務補は各校に一人の配置が必要、事務補は非常勤職員を配置すると説明があり、質疑で公務補をグループ化し共同で作業をした、外部委託をするべきとの意見が出ました。



細心の注意が求められた学校給食

「耐震診断C判定の市営住宅の今後の方針について」などを議論

建設委員会

竹田 秀泰 委員長

「ウトナイ地区新設中学校を初めとする今後新築・改築する公共施設の一般用途熱源としてのLPガス採用に関する陳情」を審議した結果、陳情の趣旨は理解できるとして、「趣旨採択」としました。所管事項「耐震C判定市営住宅の今後の方針について」担当部より説明があり、各建物の方向性が示されました。同じく、「市営住宅入居停止に関する説明会の報告について」担当部より、入居停止した建物の入居者に対する説明会の報告を受けました。



用途廃止の方向性が示された市営住宅

特別委員会

IRについて質疑が集中 自動走行試験場の誘致へ

総合開発特別委員会

金澤 俊 委員長

今回は国会で審議されていたIR(カジノを含む統合型リゾート)について質疑が集中しました。IRに対する市長の思いや今後の誘致活動についての考え方、市民への情報発信のあり方や理解の求め方、ギャンブル依存症についての対応策など、様々な視点から質問がされました。また、苦東地域への自動走行試験場の誘致について質疑の質疑も行われ、今後の誘致に大きな期待感を持ちました。



IRのイメージ図

(仮称)市民ホール建設 基本計画の報告について議論

安全・安心及び市民ホール建設に関する特別委員会

小野寺 幸恵 委員長

平成28年8月に日新町で発生したガス爆発及び火災についての中間的報告がありました。爆発・火災事故で男性1人が亡くなっております。心からご冥福をお祈りいたします。

市がガス事業者に対し事故時の対応について聞き取りを行なった内容が示されましたが、事故原因は警察で捜査中であることが報告されました。副市長からは、原因などについて年度内に示すとの方向性が答弁されました。

また、(仮称)市民ホール建設基本計画の検討状況が報告され、4カ所の候補地が示されました。



議論が進む(仮称)市民ホール検討会

議会運営委員会

分かりやすく、スムーズな議会運営を目指して

林 光仁 委員長

地方自治法第109条の規定に基づき設置された委員会です。市議会を円滑に、かつ効率的に運営するため、各会派から選出された委員により構成されています。

定例会と臨時会の会期(開催期間)や議案の取扱いなど、議会運営にかかわる事項などについて協議を行います。例えば、一般質問の質問順位の取り決めや審査の方法、請願と陳情などの案件をどこの委員会でも審査するのか決定します。

最近では、「市長選挙」と市議会議員選挙の統一選挙実施に関する陳



犬山市議会の視察の様子



長野市議会議場にて

情」について審査しています。あまり知られていませんが、議員や市側の議会における質疑内容や発言の責任についても、この委員会で取り扱われます。また、本年度は、5月18日(水)19日(木)に議会運営と議会改革の先進地調査のため愛知県犬山市及び長野県長野市へ出張し、一問一答や議会基本条例の制定に関する項目を視察、調査しており、より良い議会運営と分かりやすい議会づくりを目指しています。

緑 風

矢嶋 翼・岩田 典一・金澤 俊・木村 司
竹田 秀泰・宇多 春美・板谷 良久

矢嶋 翼 議員



☆駅前活性化について、医療・福祉施設が集積するまちなかへ、

高齢者の居住を進めるべきとの提案に、さらに利便の向上策に取り組みと答弁がありました。

☆外部監査の導入について、現在2名の監査委員に税理士などを増員し、機能強化すべきとの提案に、他市も導入しており、調査検討すると答弁がありました。

☆命と献血の学習について、命の大切さと自殺予防の教育、さらに献血によって救われる命がある事を学ぶ授業をすべきとの提案に、「こころの授業」として小・中で、自殺予防は道徳の時間で実施。献血の学習は血液センターに講演を依頼すると答弁がありました。

岩田 典一 議員

☆行政視察で訪れた境港市は人口約3万5千人と小さな町ですが水木しげるロードには、年間国内外から約200万人が訪れており、

中国地方でも有数の観光地となっています。



2010年ピークの2010年

には350万人の観光客が訪れ、経済効果額150億円と試算されています。現在「妖怪のまち」の賑わいを将来に向け、引き続き安定的なものとするため、また、観光客の利便性などを考慮した大規模なリニューアル事業に着手しています。苦小牧市も駅前中心市街地に以前の賑わいを少しでも取り戻すためにもまずは、エガオビルの一日も早い具体的な取り組みが求められています。

金澤 俊 議員



☆小中一貫教育の導入に向けて大きく一歩！今回は、教育委員会から小中一貫教育導入に向けて、30年度を目途に内部検討組織を立ち上げることが示されました。私がこの小中一貫教育の導入を

きと質し、民活を活用した整備計画を29年度中に示すと答弁がありました。

宇多 春美 議員



☆特別支援学校について 明徳小の統合後の明徳小跡地に特別支援学校を設置する

る考えに対して、平取養護学校の住み分けなどの道教委や道庁の対応など情報を収集し、市の最重要事項、さらに経済界にも協力を頂き、まちぐるみで取り組むことを質しました。

☆ひとり親家庭の支援について 経済面に課題を抱えている家庭への支援は、資格取得支援・住居確保支援・教育に関する支援などを続けること、また適切な養育環境を提供するために、こども支援課及び複数機関で情報を共有し、

板谷 良久 議員



☆3年間の総事業費約9000万円、「とまチョップポイント」事業

支援を必要とする家庭に直接訪問し、家事・育児についてきめ細かな援助と指導をすることを質しました。

「業」に関連した補正予算である、地元商店活性化事業(事業予算800万円)について質問しました。この事業は12月15日(翌1月31日)の間に、とまチョップポイント事業加盟店(以下加盟店)で買い物をする500円につき1スタンプ、計4スタンプたまと2月に行われる抽選会に参加することができ、1等3万ポイントから、総額500万ポイントを市民に還元するというものです。

現在の加盟店数が148店舗であることから、とまチョップポイント事業の目標加盟店数350店舗の早期達成を目標に、市として積極的に取り組むよう強く要望しました。

市民 派 会

谷川 芳一・桜井 忠

議会において提案し続けて数年が経過しましたが、ここにきて大きな前進となりそうです。

小中一貫教育導入のメリットは、いわゆる「中一ギャップ」の解消による学力向上や不登校対策などがあげられ、他の先進自治体では、その効果が既に確認されています。

将来の苦小牧を背負う子ども達の限らない未来のために、今後も教育制度改革、とりわけ小中一貫教育の導入に力を注いでいきたいと思っています。

木村 司 議員



総務委員会において、CAP3について質疑しました。少子高齢

化・人口減少時代を迎え、「持続可能な街づくり」実現のために23年度に「まちなか再生総合プロジェクト(CAP)」をスタートさせました。様々な事業、イベントを行っているのですが、市の施策や様々な計画にCAPの精神を盛り込み、全庁的に取り込むべきと指

摘させて頂きました。市としては、今改訂中の都市計画マスタープランにも、CAPの精神を取り込んでいきたいとの答弁がありました。

他には、市商連からの要望にあった、ときわ商店街の街路灯・防犯灯については、確認したところ確かに暗い所があるので、商店街・町内会と連携して防犯灯を設置していきたいとの答弁を頂きました。

竹田 秀泰 議員



☆JRの日高線・室蘭線の維持困難路線について

Iミナル駅地の苦小牧市として、路線維持の今後の考え方を質し、まずは一市四町で検討を始めることと答弁がありました。

☆共同供養塔について 納骨方式や親族のいない方の取り扱いなどもっと親切に行うべきと質し、個々の状況もあり検討すると答弁がありました。

☆市営住宅の整備計画について 建て直しなど民間の活力を借りて早期実施の整備計画を立てるべ



谷川 芳一 議員



桜井 忠 議員

一般質問

1. 泊原子力発電所の運転について
2. IR誘致について
3. 商業施設egaoについて
4. 法人市民税超過課税について
5. JR北海道の路線見直しについて
6. 住宅行政
 - (1) 市営住宅の用途廃止と住みかえについて
7. 教育行政
 - (1) 学校体育館の照明について

委員会質疑

- 建設委員会 陳情審査
1. ウトナイ地区新設中学校を初めとする今後新築・改築する公共施設の一般用途熱源としてのLPGガス採用に関する陳情【趣旨採択】
 2. IR(カジノ)を含む統合型リゾート誘致
- 総合開発特別委員会
1. 道内空港の民営化
 2. IR(カジノ)を含む統合型リゾート誘致

補欠選挙と議員定数 現在定数に対して2名欠員なので、平成30年の市長選挙の時に補欠選挙となります。10ヶ月後にまた選挙をしなければならぬのに立候補する人がいるのだろうか。いつぞ定数を2減してしまえば良いという声がありますが、今決まったとしても平成31年施行となり補欠選挙には間に合いません。

そもそも定数の問題は削減の議論をする前に前回減らしたことの検証を行うことになっていますが着手されていません。委員会が現行の4でいいのか、人口減の町のように3でいいのか。地方自治法の改正で議員が委員会に複数所属できるようにしたが、苦小牧ではどうなのか。一つの委員会では何人の委員が適当なのか。そういう検証が必要だと思えます。

議会は2減でも同じだから定数を削減すべきという声がありますが、そうではありません。議員が少なればそれだけ市役所をチェックする目が少なくなります。そうなれば市役所のやりたいがまま。やはり議員がチェックする必要がある。同じに見えても質や量が全く違います。

日本共産党市議団

小野寺幸恵・渡辺 満
工藤 良一・富岡 隆

●市営住宅の改善対策について
熱供給管の不具合で、末広町の住棟を用途廃止する予定であることから、個別暖房にして活用することを提案し、再活用することが

●就学援助の拡大
クラブ活動費、生徒会費、PTA会費の支給は、道内89市町村が実施している実態を示し、苦小牧でも実施することを提案しました。市教委は、「新年度から実施する」と答弁し、12月に支給する学用品費に上乗せして支給することを示しました。

さらに、新入学用品費は、2月の代表質問で党市議団が、「入学前に支給すべき」との保護者の声を受け、提案した経緯もあり、今議会でも「子どもの貧困対策として重要」と実施を強く提案しました。市教委から、30年度から3月に支給するとの答弁があり、中学生を先行して29年度から実施することが示されました。

●就学援助の拡大
クラブ活動費、生徒会費、PTA会費の支給は、道内89市町村が実施している実態を示し、苦小牧でも実施することを提案しました。市教委は、「新年度から実施する」と答弁し、12月に支給する学用品費に上乗せして支給することを示しました。

一般質問

渡辺 満



●緊急雇用対策事業費について
市単独の緊急雇用対策事業の目的である新規雇用の割合について質問し、約9割(35/39人)が新規雇用であるとの答弁がありました。また、「この事業がなければ35人が仕事を求めて転出してしまう。

●平和行政について
政府が国連で核兵器禁止条約に反対したことに対する市長の認識を求めました。市長は「日本は唯一の被爆国。これからも今も、リードして核兵器の廃絶を求めていきたい」と答弁しました。

また、平成29年は非核平和都市条例制定15年目になることから、広島派遣事業の人数の拡大と、庁舎の懸垂幕を通年で掲示することを求めました。広島派遣事業は「少しでも多くの子どもに経験してもらいたい」と、増員する方向性を示し、懸垂幕については「平成29年以降は可能な限り長期に掲示したい」と答弁しました。

●沼ノ端の複合施設について
ウトナイ小学校の放課後児童クラブでの待機児童の実態から、建設予定の沼ノ端複合施設に放課後児童クラブの設置を提案し、40人規模の1クラブを設置することが述べられ、待機児童の解消になることが説明されました。また、子育てに悩んでいるお母さん達が相談できる専用の機能を持たせることの重要性を提案し、相談室を設けることが答弁されました。

さらに、大成児童センターの取り組みを紹介し、子どもの貧困対策として子ども食堂を実施することを要請しました。

議案審議

工藤 良一



●緊急雇用対策事業費について
市単独の緊急雇用対策事業の目的である新規雇用の割合について質問し、約9割(35/39人)が新規雇用であるとの答弁がありました。また、「この事業がなければ35人が仕事を求めて転出してしまう。

●介護ロボット導入について
介護従事者の負担軽減、職場環境の整備による介護従事者の確保を目的に、国の補助事業として提案されましたが、「介護ロボットにより負担軽減にはなるが、人材確保につながるのか。処遇改善が重要では」と質問しました。担当部長は、処遇改善の必要性を認め、腰を痛めて退職する方もおり、人材確保のためには介護ロボットも必要」と答弁しました。

この事業は、全国からの希望が多かったことで補助金が大きく削減されたため、処遇改善も含め、さらなる国の予算措置を求めました。



小野寺 幸恵

●介護ロボット導入について
介護従事者の負担軽減、職場環境の整備による介護従事者の確保を目的に、国の補助事業として提案されましたが、「介護ロボットにより負担軽減にはなるが、人材確保につながるのか。処遇改善が重要では」と質問しました。担当部長は、処遇改善の必要性を認め、腰を痛めて退職する方もおり、人材確保のためには介護ロボットも必要」と答弁しました。

会派のページ

公明党議員団

林 光仁・池田 謙次・藤田 広美
神山哲太郎・大西 厚子

一般質問(抜粋)

【藤田 広美 議員】



●小中一貫教育の実施に向けて前進
教育長は、平成30年に終える研究の成果をもとに小中一貫教育の実施に向けて検討をする。チーム学校の取り組みではコミュニティスクールの導入の研究を進めると答弁。避難行動要支援者への情報伝達としてFAX・電話・メールなど一斉配信の導入や、防災行政無線の再確認ができるテレフォンスービスの導入に向けて検討している。被災者支援システムの運用では、講師派遣や研修で人材の育成と訓練も行うと答弁がありました。ほか、広報のあり方について、Wi-Fi環境の拡大について、若者支援について、定住促進について質問しました。

【大西 厚子 議員】

障がいのある無にかかわらず、共に学ぶことを目指す「インクルーシブ教育について」本市の取り組みを質問しました。

みを質問しました。



●学校の「施設・設備の整備について」エレベーターの前倒しした計画的な設置を求めました。特別支援学級の「介添員の拡充」を求め、適正配置に向け協議を求めると答弁。「交流及び共同学習について」充実を求めました。「学校トイレの清掃について」悪臭対策のため、業者による適時適切な清掃と配管の整備を求めました。「凍結路面対策」では、「凍結路面危険箇所マップ」を28年度内にホームページに掲載すると答弁。ほか、「高齢者の理美容の支援」について質問しました。

【神山 哲太郎 議員】



●「車椅子でも暮らせる安心のまちづくり」歩道が傷んで車椅子では、厳しい場所が多く見受けられるが、整備計画やご意見を頂いた場所の対応が遅れているのでは

ないか、また、公園のトイレを利用する際、駐車場などが無いため、その対応を質問しました。

●全市の改修は時間と費用がかかるため不便をかけるように関係部署とも連携をとり、スピード感のある対応をしていきたい。公園の駐車場については、試行的に停車スペースをもうけるなどの答弁がありました。

●「スケート場のフリー滑走について」一般滑走について今後、見直しをする答弁がありました。

【林 光仁 議員】



●長期化した場合の避難所運営について自主防災組織の認識を質問し、出前講座や説明会の機会に啓発に努めると答弁がありました。また、それぞれの地域の課題を盛り込んだマニュアルを策定してもらえるよう連携・協力していく。ボランティアの避難所支援については、28年度内にセンターの設置・運営マニュアルの改訂版が完成予定と答弁がありました。

進行に応じたサービスの提供の流れを把握できる認知症ケアパスの作成と周知について、平成29年中に作成すると答弁がありました。

●障がい者就労施設に有料指定ごみ袋の製造等の委託を提案。可能であるが、品質保持などの遵守事項をクリアされるかの判断によると答弁がありました。ほか、精神保健領域におけるピアサポーターの養成について質問しました。

【池田 謙次 議長】



●今回は一般質問で17名の議員が、様々な視点から白熱した論戦を繰り広げました。議会改革の視点では、一つは先駆けて28年度からの「政務活動費」のホームページ公開。さらには、議会の情報発信の視点から「フェイスブック」を29年度から立ち上げます。益々、より市民の皆さまに愛される・親しまれる議会を目指し取り組んで参る所存ですので、今後ともよろしく願います。

改革フォーラム

松井 雅宏・越川 慶一
牧田 俊之・首藤 孝治

「火災発生件数」と「査察・消防立入検査」について質問し、予防啓発のためにメール配信による情報展開について、関係部署と検討を進めると答弁がありました。また査察については違反対象物の公表に対して平成30年または31年実施を目的に準備を進めると前向きな答弁がありました。「猫の飼育放棄対策」については飼い主などのモラル向上の講演や譲渡会などのイベントの内容を確認し協力を検討したいと答弁。「JR北海道単独維持困難路線」について質問、東胆振1市4町の枠組みで意見交換すると答弁がありました。

「自動走行大規模実証試験場」の苦東地区への誘致活動については、北海道と連携して取り組んで行くこと答弁がありました。



牧田 俊之 議員

一般質問・常任委員会質問など

一般質問で子育ての充実を図るため、放課後児童クラブの運営状況を確認し、植苗地区にクラブがないことを指摘、植苗地区は今後、地区計画を定めることで住宅などを増やし地域コミュニティの維持を図る計画ができ、道営住宅の建設案などもあることから、率先してクラブを設立し、この地区に人を集める努力をするよう求め、また、児童センターは市内に6カ所あるも全市的に網羅されていないことを指摘し、センター設立には多額の費用が掛かるため、学校教室を利用したセンター設立を求め、また、公共施設での一時預かり保育の創設を求めました。港湾での防災対策では、緊急避難設備が不備であることを指摘し、沿岸部各所にパトライト付き緊急避難スピーカーの設置を求めました。その他、スケートのまち苦小牧について質疑しました。



首藤 孝治 議員

オリ・パラ参加国のホストタウンを目指して！

Q. 苦小牧市もオリンピック・パラリンピック参加国との相互交流を図り、地域活性化や観光振興などにも繋がる可能性が有るホストタウンを目指すべき。

A. 参加国の受け入れに対し可能性を考えてきたところ。現在は苦小牧市に興味を示している国もあり、ホストタウンの登録に向けて交渉を進めたい。

全小中学校にオートロックを！

Q. 学校への不審者侵入防止の観点から、全小中学校にオートロックと防犯カメラの設置を求めめる。

A. 30年度までに計画的にオートロックを整備する。改築予定がある4校は改築に合わせて32年度までに整備する。その後、防犯カメラの整備についても検討する。



越川 慶一 議員

総務委員会、中心市街地活性化を目的としたCAPPプログラムパート3（2017年度～2019年度）の素案が報告され、本計画の特徴として掲げている若い世代や子育て世代をターゲットとした施策に交流人口増を狙った事業は記載されている一方、若者の居住人口増の環境整備や対策が盛り込まれていないことを指摘した上で今後の検討と取り組みを求めました。さらに現在の居住対策としての新設の集合住宅建設補助制度が、十分に活かされていないことを指摘し、対象区域の拡大と要件緩和をすることを求めました。

また、安全・安心及び市民ホール建設に関する特別委員会では、芸術的な観点よりも社会的価値を掲げる市民ホールづくりの理念を分かりやすく市民議論を活かしていくことを求めました。



松井 雅宏 議員

会派のページ

民進党・市民連合

代表 小山 征三・副代表 西野 茂樹
幹事長 松尾 省勝・副幹事長 岩田 薫

★ **エガオ問題の早期解決を！**

平成26年4月にエガオビルを運営するサンプラザが事業を停止、一度は地裁から破産申請が却下されたものの平成28年4月に破産が確定しました。しかし、権利者のうち2人の交渉が進んでいないことからこれまでの経過と今後について市側の姿勢をたずねました。

市側は、建物の99.5%、土地の83.39%を既に保有していることを明らかにしました。また、岩倉市長は、時間をかけるつもりはないが、100%同意をもらうべく努力を重ねるとしました。

★ **避難所の熱源確保は？**

避難所となる公共施設の多くが

1 政治姿勢
(1) 旧駅前商業ビル エガオの現状と今後について
(2) 市民ホールの建設について

2 防災対策
(1) 避難所の機能と役割について
(2) 都市ガスの事故対策について
(3) 指定管理者制度について

小山征三 議員
http://www.tomakomai.or.jp/koyama/

一般質問(小山征三議員)

★ **東胆振一市四町で意見交換**

平成28年11月18日に、JR北海道が単独での維持が困難な路線を発表し、苦小牧市に関連する2路線が含まれていたことから、市としては、一市四町の枠組みで意見交換するとともに、JR北海道に対し、貨物も含め具体的対応を求める事としました。

★ **国道276号線緑跨線橋のか**

1 政治姿勢
(1) JR北海道単独維持困難路線について
(2) 国道276号線緑跨線橋かけかえと中央インターチェンジについて

2 ぼい捨て条例について
3 学校トイレの洋式化について
4 AEDの設置状況について

岩田 薫 議員

一般質問(岩田 薫議員)

都市ガスを供給していることから熱源の確保策として、東京都が示している「災害時におけるLPガスの活用に関する検討」を参考に進めるべきであると市側に今後の対応を求めました。

★ **建設常任委員会の西野茂樹議員の質疑**

災害によって都市ガスが供給停止になった場合の緊急な熱源を確保させる観点から、公共施設での一般用途の熱源として、LPガスを採用させる事は、安全・安心の面からも必要な対策です。会派として、必要性を強く市側に求め検討する事が示されました。

★ **総合開発特別委員会**

相次いで発生している東港のガン



建設常任委員会

また、今後の対策として、市独自の対応マニュアルの必要性についても、ヒトへの感染例など、他都市の事例を調査し、反映できる体制を構築するよう提案しました。

また、今後の対策として、市独自の対応マニュアルの必要性についても、ヒトへの感染例など、他都市の事例を調査し、反映できる体制を構築するよう提案しました。



松尾省勝議員の質疑

★ **鳥インフルエンザの対応**

苦小牧市で初となる「高病原性鳥インフルエンザウイルス」が検出され、市民への予防対策の周知が示されました。厚生常任委員会では、様々な調査結果を基に、野生動物がウイルス伝播に与与していることを指摘し、農場等への対応強化やウイルスの拡散防止、また、必要に応じ、消毒機材の配置拡大など、国や道との連携強化を要望しました。

トリークレーンの事故については、防止対策が示された矢先の11月に再び事故が発生しました。質疑では、事故原因と事故責任の解明、さらに事故防止策の厳格な徹底を求め、市側から事故防止対策の再検証を行う事が示されました。

スポット

読む側の視点にたった誌面構成を!

11月開催「市議会だよりフリートーク」で出された意見を基に見やすい紙面、読みやすい文章へ改善を進めています。

Softly

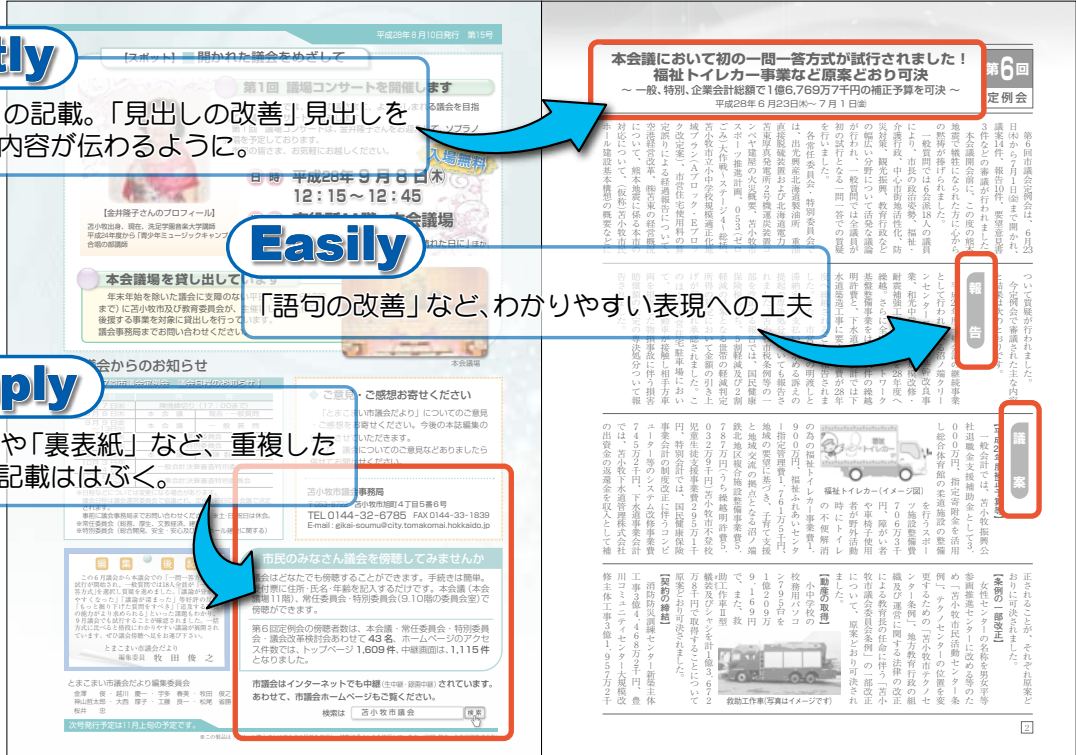
「注釈」の記載。「見出しの改善」見出しを工夫し内容が伝わるように。

Easily

「語句の改善」など、わかりやすい表現への工夫

Simply

「表紙」や「裏表紙」など、重複した部分の記載ははぶく。



第2回 議場コンサートを開催します

入場無料

～ 山田沙紀さんによるマリンバ演奏 ～

日時 平成29年2月24日(金) 12:15~12:45

場所 市役所11階 本会議場

【プロフィール】

- ・苫小牧市出身
- ・洗足学園音楽大学卒業
- ・KOBEL国際音楽コンクール奨励賞受賞 ほか



※マリンバとは木製の鍵盤打楽器

◆ 曲目：リベルタンゴ、マリンバ・ダモーレ、ふるさと ほか

市民の皆さま、お気軽にお越しください。

議会からのお知らせ

【第9回市議会定例会 議会日程のお知らせ】

月日	内容
2月23日(木)	陳情締切り(17:00まで)
2月24日(金)	本会議(市政方針・議案審議等)
3月2日(木) 3日(金)	本会議(代表質問)
3月7日(火) ~14日(火)	一般・企業会計予算審査特別委員会
3月15日(水)	常任委員会
3月16日(木)	特別委員会
3月17日(金)	本会議(残余議案・委員会報告・その他)

※日程などについては変更になる場合があります。議会日程は議会運営委員会にて協議され、定例会初日の本会議で決定されます。事前に議会事務局までお問い合わせください。*土・日・祝日は休会。
※常任委員会(総務、厚生、文教経済、建設)
※特別委員会(総合開発、安全・安心及び市民ホール建設に関する)

編集後記

飛躍の年に!!

2017年、新たな年を迎えられ、みなさんお元気にお過ごしかと思います。

今年は「酉年」ですが、話によれば、よいことと、そうでないことが混在する年になるそうです。市民のみなさんに「とり」ましても、よりよい未来に向かって大きく羽ばたける、飛躍の年となりますことを心よりご祈念申し上げます。

とまこまい市議会だより
編集委員長 金澤 俊

とまこまい市議会だより編集委員会

- 金澤 俊・越川 慶一・宇多 春美・神山哲太郎・大西 厚子
- 工藤 良一・松尾 省勝・牧田 俊之・桜井 忠

次号発行は平成29年5月上旬の予定です。

※この製品は「グリーン購入法」に適合する用紙を使用し、植物油系インキを使用しています。(印刷・製本：北光印刷株式会社)